



あいのわ福祉会

Ayase River Times

みんなで「ほっと、いっしょに、いきいきと」
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び、お互いの自己実現を目指します～

一年を振り返って、さらに半歩前に!!

施設長 横内 康行

ここ数年で特に感じることは利用者の方の高齢化とその家族の高齢化が進んでいることです。一年間を振り返ってみますと、比較的いつもの年と異なったことは、ご家族のお父様方が体調不調で入院等されるケースが増えたことです。母親にとってみれば我が子の介助と旦那様の二人を介助することはとても負担増と不安を強く感じる心理状態であったことと察します。親の高齢化と障がい者の高齢化及び重度化（医療を必要とするケースを含む）が進んでいます。もちろんもっと大変な状況は母親が体調不良や入院するケースも年々増加してどうにも手が打てない状況を迎えてしまうことです。

綾瀬あかしあ園でも、何人かのご家族において厳しい家庭環境に置かれ始めていることは間違いありません。

そこを一定程度回避するためには、今後は早めの手立てや元気な内から、ヘルパーや制度を有効活用してライフスタイルを自ら変えていくしか逃れる方法は無いと考えます。この一年で“いっしょ勉強会”においても他県の入所施設見学や城北特別支援学校の卒業生を招いての障がい者自身の生の声を聴く機会としてお話し会等様々な取り組みをしてきました。

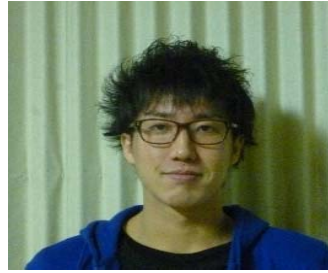
平成26年度は、新たな2名の利用者を加えて施設サービスの在り方も半歩前に踏み出します。ご家族の皆様も、大変だと思いますが是非半歩踏み出してみても如何でしょうか。新たな発見が出来るかもしれません。

クラリネット、聴いちゃった♪

3月6日（木）、綾瀬あかしあ園の音楽療法講師である尹（ゆん）先生と友人の菊池さんの女性2人によるミニコンサートが開かれました。尹先生のキーボードと菊池さんのクラリネットで、「世界に一つだけの花」や、「さんぽ」、「ふるさと」等、皆さんなじみの曲で、大いに盛り上がりました。音楽に耳を傾けるだけでなく、みんなで言う合奏や普段はなかなか触る事のできないクラリネットを触るコーナーもあり、皆さん大いに満足されたようです。素敵な演奏、ありがとうございました!!



<退職職員：星野さん、尾臺さん>



7年間という長い間大変お世話になりました。新社会人として綾瀬あかしあ園に入り、勤務していた中で様々なことを学び、たくさんの思い出を作ることができました。自分がここまで成長できたのは、綾瀬の皆さんのおかげだと思っています。今までありがとうございました。（星野 博之）



4年間大変お世話になりました。楽しくお仕事させていただき、とても充実した日々を送ることができました。またみなさんにお会いできる日を楽しみに長野で頑張りたいと思います！本当にありがとうございました。（尾臺 順）

<異動職員：西川さん、相田さん、草野さん、上野さん>

<竹ノ塚あかしあの杜へ異動>



私は、5年間綾瀬あかしあ園で勤務させて頂きました。初めは右も左も分からず、利用者さんと保護者の皆さん、支援員の皆さんに助けられここまで来ることが出来ました。今まで学んだことを活かしてあかしあの杜でも頑張っていこうと思います。ありがとうございました。（西川 玲子）

<竹ノ塚あかしあの杜へ異動>



綾瀬あかしあ園に来て、あっという間の5年間でした。利用者さんの優しい笑顔、保護者の方々からの温かいお言葉、支援員の方々から教えていただいたことは、私の財産です。ありがとうございました!!（相田 麻衣）

<あいのわ相談センターへ異動>



このたび、あいのわ相談センターに異動することになりました。といっても4月からは当園の1階に相談センターが移ってくるので、あまり異動って感じがしていません。あいのわ福祉会に入って今年で10年になりますが、そのほとんどを綾瀬あかしあ園で過ごし、本当に楽しく働かせていただきました。ありがとうございました。（草野 和規）

<あいのわ支援センター谷中へ異動>



4月よりあいのわ支援センター谷中へ異動することになりました。3年間大変お世話になりました。いろいろな活動に参加させていただきとても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。綾瀬から離れることがとてもさみしいです。谷中への入浴サービスやショートステイなどご利用の際は、事務室までお寄りください。皆さんにお会いできることを、<<首をなが〜く>>してお待ちしています。本当にありがとうございました。

（上野 幸恵）

みんないっしょに。活動報告！！



1グループ

今年度は調理活動を数多く行ってきました。その数は全部で30回！！お正月にはお節料理にもチャレンジしました。様々な食材の匂いや感触を味わうことを大切にするため、素手で食材を触ることも多く取り入れました。小麦粉はもちろん、小豆を手でつぶしてみたり、時には生卵を素手で潰したりもしました。途中で味見を入れながら作りましたが、完成品が不評だったこともしばしば…。

目的は美味しいものを作るのではなく、食材の様々な感触を味わうことなので、めげずに次年度も色々なものを作ります。



2グループ

3月の活動では2グループだけで風船バレーをしたり、wi iスポーツでボウリングやテニスをしてみたりと身体を動かしています。皆さん勝負事となると真剣そのもので楽しみながらも闘志むき出しで、少人数とは思えない盛り上がりを見せています。

また、活動の中でお皿洗いを経験してみたりもしています。普段から生活の中で実践している方もいらっしゃいますが、アドバイスを受けながらそれぞれ一生懸命取り組まれています。掃除をしたり、調理をしたりと日常行っている何気ない経験も増やしていけるようにしていきたいです。



3グループ

3月に入ってもまだ寒い日が続いていますが、3グループの利用者の皆さんは、寒さにも負けず元気に通所されています。

今月の「創作活動」は先月作製した桜の木の貼り絵に、グループの皆さんの写真を貼り付け素敵な芸術作品？が出来上がりました。皆さん楽しそうに自分の写真を切り取り思い思いの場所に貼り付けていました。



4グループ

3月は、全体創作活動でひな祭りの装飾を作りました。折り紙をちぎってダンボールに貼り、お内裏様とお雛様の服や屏風に貼ったり、お花紙を使って花を折ったりし、完成した作品は3月3日まで園の玄関に飾りました。また、現在は入所式の装飾を作成しています。4月の入所式までグループ全体で準備を進めていきます。

今年度も全体創作活動では季節に合わせた装飾づくりを行い、園の玄関の装飾や園祭の食堂の装飾の作成をしました。少し難しいものを作ることもあり、「難しい・・・」という声も出ていましたが、あきらめずに作業を続け、作品を完成させることができました。

来年度も4グループは創作活動を中心に行っていき、利用者の方が個々に達成感が感じられるように作業を行っていきます。



2. 21 さるわたり 猿渡さん講演会

地域で暮らす事。家族として向き合う事。

今回のいっしょ勉強会は、城北特別支援学校の卒業生である猿渡達明さんをお迎えし「地域で暮らすこと」について講演をしていただきました。現在、文京区にあるNPO法人『スタジオIL文京』にお勤めで、障がいをもつ方が地域で暮らすために、どんなサービスを利用して生活できるのか、また家族とどのように向き合っていくといいのかなど、貴重な体験談を交えてお話していただきました。障がいの重い軽いは関係なく、皆『こうしたい!!』を持っている。その伝え方もそれぞれで、緊張だったり白髪が増えたり…小さいアピールを拾うことが大切、先回りは絶対やめて欲しいなど、昔から面識のあるご関係だからこそ築ける和やかな雰囲気の中行われました。その後給食を利用者さんと召し上がり懐かしいお話をされて、握手を求める方もいらっしゃいました。職員にとっても保護者の方々の本音をお聞きすることができた貴重な時間でした。



☆速報「私たち結婚しました！」 2グループ

支援員の二宮祐貴さんと4グループ支援員の相田麻衣さんが、この度ご結婚されました。おめでとうございます！！

